

# 令和5年 第10回福祉医療常任委員会所管事務調査報告書

令和5年12月14日

別海町議会議長 西原 浩 様

福祉医療常任委員長 外山 浩 司

福祉医療常任委員会の所管事務の調査を実施したので、別海町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

## 記

### 《第10回》

#### 1 日時

令和5年12月14日（木） 午後1時23分から午後3時30分まで

#### 2 開催場所

委員会室3

#### 3 出席委員

外山委員長、宮越副委員長、中村委員、小椋委員、高橋委員

#### 4 欠席委員

なし

#### 5 委員外

西原議長

#### 6 調査事項

（1）町立別海病院の運営について

（2）健康保険証の廃止に伴う町民生活への安全面について

#### 7 説明員の職と氏名

福祉部長 干場みゆき、福祉部次長 小川信明、福祉部次長 谷村将志

福祉課長 石戸谷 友絵、介護支援課長 高橋勇樹 ほか

病院事務長 三戸俊人、病院事務課長 木茂木直人、病院事務課主幹 奈良司

病院事務課主幹 大森圭介

## 8 調査結果

### 【病院所管事務調査】

#### (1) 町立別海病院の運営について

- ・ 質疑等については、別添要点記録のとおり。

#### ◎コンサルタントへの依頼目的

- ・ 病院の経営収支改善が主ではなく、今後の別海病院の安定経営に向けたものである。

- ・ 医療人材の確保、働く人の環境、その人たちが、仕事への満足感をより得られるような改善策である。

- ・ 改善することは、弊害もあり大きな苦勞が伴う。その後にメリットが生まれるための汗をかければ良い。

#### ◎話し合いの場の設定

- ・ コンサルタントと福祉医療常任委員会との話し合い。
- ・ 地域おこし協力隊のメンバーからのアドバイス等を受ける話し合い。
- ・ 理事者の病院運営に関する意見。特に医師確保に向けての考え。

\*今後、委員会代表質問の機会を視野に入れる。

その前に、委員会だけではなく、議会側としての意見をまとめる必要がある。

#### ◎今後の取組

- ・ コンサルタントを取り入れた芽室病院の西科事務長との懇談
- ・ 芽室病院への視察(令和6年度実施予定)
- ・ 継続調査とする

### 【福祉部所管事務調査】

#### (1) 健康保険証の廃止に伴う町民生活への安全面について

- ・ 質疑等については、別添要点記録のとおり。

- ・ マイナポイント(2万円)につられて作成した人も多くいたようである。その時に健康保険証の「ひも付け」をしていない人もいたのでは。いざ、病院を受診する時に困ることになる。今から、個人で操作できるが難しい面もある。町側のサポートをお願いしたい。

- ・ マイナンバーカードを作成していない人には、「資格確認書」が送付されてくる。

- ・ 情報漏えいの問題が心配されるが、使用してみて便利さもある。病院で前回確認した検査内容や薬などについてもすぐにわかる。

- ・ 国の政策であり、町の判断はできないは理解している。

以上